

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年10月26日公開
最新中東情勢、その他

.....
イスラエルのテルアビブより、シャローム！ようやく国に帰ってきました。こちらはもうすぐ朝の6:30、アメリカ西海岸では夜の8:30、東海岸は夜11:30です。いくつかお伝えしておきたいことがあります。それから、インターネットでも出回っていることについてもお話ししておきたいことがあります。私がはっきりと明言しないといけないことだと感じているからです。

まずは、現在中東で起こっていることについて。

二日前（10/24）、ロシアとエジプトが30数年ぶりに合同軍事演習を行いました。それは、イスラエルにとって初めて（私が生まれて以来も初めて）、地中海にロシアの軍艦が駐留しており、北東のシリア、南のエジプトにもロシアがいて、イスラエルが少なくともロシアの軍事的駐留に周囲を取り囲まれていることになっています。ロシアが現在おこなっているように、これほど中東に深く関わり、駐留しているのを今までに見たことはありません。そして突然、中東でのアメリカの動きについて、何も聞かれなくなりました。アメリカはどこか他の場所において、前にも言った通り、アメリカは戦争騒ぎや何らかの決意表明をしてはいるものの、モスルでは首尾よく事が運んでいません。モスルは、占領とは程遠い状態です。このスンニ派の町に住む住民の多くが、ISISを手放したくないのです。なぜならイランがバックについているシーア派の軍隊や民兵が入ってきて、住民を惨殺することがわかっているからです。一旦シーア派が入ってくると、スンニ派の町であったラマディやファルージャで起こったように、自分たちも全員が虐殺される可能性が高いということを彼らは理解しています。スンニ派ということ自体が、ISIS支援者だと直結するからです。

ISISはスンニ派のテロ組織で、シーア派とスンニ派は互いに全く相容れません。このシーア派とスンニ派の対決が中東で現在起こっていることの本質的な理由となっています。しかし、世界中の国々はその対立を利用して、前進しているのです。

例えばトルコ。トルコはつい先日、モスルでの軍事行動を行うと宣言して、F-16を送り込みました。それに対して、イランが激怒し、「トルコはイラクの主権を侵してはならない」と主張しました。これをイラクではなく、イランが言っているのが興味深いことですが、この発言の理由も、やはりシーア派対スンニ派の対立です。トルコはスンニ派の国で、イランがシーア派イスラム教徒の母国です。イランはシーア派の拡大を狙っています。すべてのスンニ派の国は、イランにとって真の標的なのです。トルコが最終的に必要としているのは、スンニ派の国の軍勢がこれを占領することです。

アメリカは、自分たちが何に首を突っ込んでいるのか、全くわかっていません。現在、オバマ政権がモスルで行っている戦闘は、すべて大統領選のために、タイミング的に疑う余地はありません。ISIS と戦っていること、戦う決意表明の目的以外に、普通は誰も選挙の 20 日前にこんなことをしたりはしません。そして、ほとんどの報道が偏向されたもので、ISIS はモスルで領土を失ってはいないのです。実際、3 つ~4 つのケースでは、ISIS は何か月も入っていなかった場所で市街を占領し、さらに勢力を広げているのです。

例えば、シンジャルの町（書記注：2014 年 8 月に多くのヤジディ教徒が虐殺された）。シンジャル山のある地域に、ISIS は突然戻ってきました。現在 ISIS が戻ってきているその他の地域は、クルド人の町キルクーク、そして、イラク西部のルトバ（シリア砂漠のオアシス、給水地）。つまり現状は、数か月前に砂漠に滞在していた ISIS が、再び戻ってきて攻撃し始めたのです。砂漠は ISIS の居住地で、彼らはそこで軍勢を招集し、戦闘に備えているのです。

スンニ派イスラムが理解しているのは、「インファデル（非信者）との間に平和はない。あるのは、真実だけだ」ということです。そして、剣を握り、血を流すことで自分たちの意思を強め…つまり再結成し…これが過去数か月の間に ISIS が行ってきたことです。彼らは人々に信じ込ませるために「敗北した」と公表し、現在は反撃しています。

トルコのエルドアン大統領は、クルド人が西側の同情を買い、支援を受けて勢力を拡大しているのに我慢ならず、怒り狂っています。クルド人がイラクやシリアで成功をおさめ、それによってトルコ国内のクルド人が、自由を求めて動き出すことを恐れています。ですから、トルコも現在大変な不安に陥っています。

ということで、現在私たちはものすごいことを目撃しています。シリア・イラクにおいてのロシアの動き、これらを一言でまとめるなら、「中東において、ロシアはますます勢力を強め、アメリカはますます弱体化している」。その上、結構衝撃的なのが、アメリカの味方であったはずのエジプトが、ロシアと共同で軍事演習を行っていることですが、過去 30 年以上のアメリカ外交が築き上げてきた関係が、今や水泡に帰そうとしています。そこでヨルダンやサウジ、その他の湾岸諸国は、もはや中東において不在のアメリカよりも、他の味方・友好国を見つけなければならなくなり、イスラエルに対する見方が変わってきました。イスラエルは今や、彼らの敵ではなくて、味方なのです。彼らはイスラエルに援助を求めています。実際、サウジアラビアは「もし、イスラエルがイランの核施設を攻撃するのなら、自国の空軍基地の使用を許可する。のみならず、サウジ軍の F-16 も出動させる」とまで申し出ています。これはイスラエルの戦闘機に対しての攻撃ではなく、イランを空爆するためです。サウジはイランを恐れています。イランは何でも自分たちのやりたい放

題にできる核協議に酔いしれています。イランは核開発だけでなく、あらゆる分野で、他の様々なこともできる同意を得ました。現在起っていることは、アメリカが2年前にモスルを奪還することができたにも関わらず、今頃になってイラク軍にモスルを攻撃するようにと強要していることです。これは、オバマ政権が確実に「自分はISISと戦って、全滅させた」という伝説を残したいがためです。しかし、面白いことに、今現在、これによって嫌悪し合うバグダッド、エルドアン、クルドの間に問題が生じてきました。彼らは、自分たちの伝説を残すつもりが、実際にはどんどん深く墓穴を掘っているのです。オバマ政権の中東での伝説とは、恐らく下記の通りでしょう。

「全ての間違ったタイミングで、全ての間違った人々と行った、全ての間違い。」

そのため、中東はすっかり不安定になりました。エジプト、イラク、シリア、リビアに関して、それから当然イランに対しても、全て間違った決断とパートナーを選び、自分の味方を見捨てたことで、非常に不安定な状況を作り出しました。それをロシアがまんまと利用して、空洞になった場所に入り込み、自分の駐留地を建設しているのです。

ロシアはちょうど昨日、新しい核弾頭ミサイルの写真を公開しました。その名も「サタン2」。初めのミサイルが「サタン1」だったので、今度のが「サタン2」です。これはいくつもの核弾頭を搭載することができ、それが命中すると、ニューヨーク州の3分の2を破壊する能力を持っているといます。ロシアは準備を整え、関わっているだけでなく、どんどん積極性を増しています。そして、「もしアメリカやヨーロッパ連合が、これ以上ロシアに制裁を加えるのなら、我々はそれ相応の報復をする」と言っています。これは、宣戦布告ともとれるわけですが、前にも言った通り、ロシアは基本的に、西側諸国と戦争するつもりはなく、ただ中東で自分たちのやりたいようにすることを、西側に黙認させたいということです。

さて次に、インターネットで出回っている件についてお話ししたいと思います。

とても残念なことです。

ある報道をずっと見ているのですが、彼らが伝えていることは次の通りです。

「聖書預言の教師は、暗くて落ち込む話ばかりしていて、ただ何もせずに携挙を待ち続けろと教えている。若者を喜ばせることをせず、若者と関わることもしていない。」

これは、現在の世俗的な教会や、有名な教会の指導者たちが語っている言葉です。

私はこれまで、聖書預言の話をしていて、その最後に「今の状況を見て、どういう時なのかを知り、外に出て、全ての生ける者に福音を伝えなさい」と言わなかったことは、一度もなかったと思います。と言っても、聖書預言で重要なことは、ただ外に出て福音を伝え

なさいということだけではなく、同時に準備を整えるため、今の時代と季節とを理解するためです。私たちは現在、主の時間が近いのだから、お互いに励まし合わなければなりません。私が知っている人は誰一人として、ほんの一瞬でも

「携拳が近いのだから、ただ座って、シートベルトを締めてじっと待っていよう。若者に関わっている暇はない」
などと言ったことはありません。

平静を装い、カッコつけて、聖書預言やものすごく重要な教えを蔑ろにしている牧師達を、私は実に恥ずかしく思います。そして、全てが問題ないかのように、仕事もうまくいっているように見せかけている。世界がめちゃくちゃになっている時に、です。実際、若者たちが知りたがっていることの一つは、世の中は一体どうなっているのか？そして、これらの事が、聖書預言とか、自分が預言を理解しておくことと、どういう関係をもつのか？そしてこれらのことに対して、自分はどうするのか？ということです。

私は教会や教会の指導者たちの名前は言いません。ただ、あなたに伝えたいことがあります。それは、聖書預言を教えることと無関心とは、一切つながらない、むしろ逆で、私たちは人々に勧めているのです。ただ準備をするだけでなく、主との関係を正して、御父の業に励むように、活動するように。ただ座って、神の愛や恵みについて語るだけではなく…「互いに愛し合いなさい」とか「反対側の頬も出しなさい」とか、これらも大事な教えなのですが、…それだけでなく、私たちは今の時や、今の季節を理解し、世界で今何が起きているのかも理解しなければなりません。そして私たちは、不安になったり恐れたりするのではなく、祝福された望みを持たなければなりません。実際、私たちが周りの人々に福音を伝え、1つ与えられるものがあるとしたら、それは祝福された望みです。

祝福された希望＝教会の携拳です。どうすれば、携拳を脇に押しやって、「それは重要ではない」とか、「それについて語るべきではない」なんてことが言えるのでしょうか？これは、クリスチャンが知っておくべき最重要事項です。私たちはこの世のものではなく、主が来られて、ご自分の元に迎え入れられますし、主は約束された通りにすぐにでも来られます。主イエスは言われました。

3 …また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。(ヨハネ 14:3)

主は今、天国におられます。だから大患難が起きて、神の怒りがこの罪にまみれた、悪の充満する世界に注がれる時には、私たちは天にいます。

それから、いろいろな人からアメリカ大統領選についての質問を受けます。つい先日、女優のオプラ・ウィンフリー（「カラーパープル」「オーシャンズ 13」「プリンセスと魔法のキス」他出演）が大々的にヒラリー・クリントンを支持するのを見ました。そして、彼女のサポーター全員に伝えています。それを彼女は TD Jakes（The Potter's House Church）のテレビ番組でやったのです。TD Jakes は牧師です。彼はオプラを迎え入れ、そして彼女が、すべての人に呼び掛けるのを許可したのです。

「他に選択肢はない。ヒラリーがアメリカにとって唯一の希望だ。国を愛するなら、ヒラリーを愛する必要はない。でも、国は愛さなければならない。そして、自由と国はすべて彼女にかかっている」

なんという恥でしょうか？

おそらくアメリカ史上「最も聖書に反する公約」が、牧師の番組の「公約」となっているのです。それほどまでに、聖書について、私たちがどう生きるべきかについて、どう対処すべきかについての理解が、完全崩壊しています。アメリカの多くの場所、多くの教会で、人に投票せず、公約に投票しましょう。誰が何を支持しているのか、よく見てください。もし、二人の候補者の人格や名前が選択肢だったら大変ですよ！それに関しては、私も同感です。でもそうではなく、公約を見るのです。

といっても、私はアメリカ人ではないし、投票もしません。ただ、皆さんに伝えているだけです。イスラエルでは、私たちは全員が投票します。それが自分たちの生活に影響を与えることを理解しているからです。それが私たちの国を形成するのですから。もし、ネタニヤフ（右派政党リクード）ではなく、労働党（建国から 30 年は政権を握っていた）が勝つなどということになったら、神が許さないでしょう。彼らが、アメリカをはじめとする世界各国から圧力をかけられて結んだ、シリアとの平和協定は現在崩壊しており、ISIS がガリラヤ湖のすぐ側まで来ています。ベンジャミン・ネタニヤフはある種強硬派で、保守的かもしれません。しかし彼は、イスラエルが取り囲まれている環境を把握し、誰に対応しているのかも理解しています。同じようにアメリカ人も、自分たちが誰に取り囲まれているのか、それが自国にとってどれほど危険であるかを理解すべきです。

この 8 年間は、アメリカにとって最悪で、とんでもない期間でした。その結果、アメリカは、今や世界中の笑いものです。私はアメリカを愛しています。そして、世界中の大勢の人々が、ただ愛するだけでなく、アメリカのために祈っています。また、アメリカ人が正しいことを行えるようにとも祈っているのです。単純な事実として、アメリカ人が投票に行かないということは、また、アメリカが同じ状態を繰り返すということを意味します。だからみなさんには、投票に行くようにと呼びかけているのです。行って、正しい票を投じましょう。

話を元に戻して、聖書預言やそれに関すること嘲笑っている牧師達に言います。黙示録にはこう書かれています。

10 …イエスのあかしは預言の霊です。(黙示録 19:10)

そして、聖書のすべての預言は、創世記 3:15 で、サタンの終わりが書かれた「女の子孫がサタンの子孫の頭を砕く」という箇所から、すべて、イエスについての預言なのです。聖書預言は、イエスの到来に向けて教会を備えさせるためのものです。そして、備えのできていない世の中に向かって、これから起きること、間もなく起きようとしていることを伝えるためのものなのです。そうすれば、彼らは準備を整え、行動を正すかもしれないからです。非常に多くの人がハル・リンゼイの著書（日本語に翻訳された本はどれも絶版になっているが、Amazonで古本購入は可能・“The Late Great Planet Earth”はKindleで購入可能）や聖書預言を読んで、救われています。私も、他の何よりもそれに魅了されて、イエスを自分のメシアであると信じた一人です。旧約聖書の中で、イスラエルの預言者に与えられた、すべての預言の成就の中に主イエスを見たからです。

ですから、もしあなたがカッコよくなりたいなら、関わりを持ちたいなら、真実を脇に押しやって、甘いだけの福音を伝えるのを止めなければなりません。世界で何が起きているのかを人々に伝え、祝福された希望を人々に手渡すのです。携挙について隠し立てするのではなく、語らねばなりません。パウロも携挙について語っています。

次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。…（第一テサロニケ 4:17）

パウロは期待したのです。携挙を期待して生涯を過ごす牧師達を、私はバカにしたりしません。それは素晴らしいことで、すごいことです。私たち全員は、いつ何時でも携挙が起これることを期待して、人生を生きるべきです。私はもし、携挙の約束—主が迎えに来て、私たちを連れて行ってくれるという約束—がなかったら、どのようにして生きているかわかりません。これは主の約束です。主が約束されたのだから、約束なのです。だから、皆さんに伝えます。どうか心を恐れで満たさないで。欺きの霊に満たされないで。この世で一番大切なことを脇に押しやらないでください。教会や牧師の名前は敢えて言いません。しかし、こういったうわさや「聖書預言は若者を魅了しない」などというようなことを、牧師たちが他の牧師に教えているのを耳にした人。どうか聖書預言を教えるのを止めないでください、と言いたいのです。そして、若者たちに、世界で今何が起きているのかを伝えてください。彼らには、さっぱりわからないのです。でも、それを神のみことばにつ

なげて、彼らに希望を伝えなければなりません。希望とは、この世ではなく、携挙され、私たちの主と共にいることです。これこそが私たちの希望です。祝福された希望とは、主が来られること、そして主の輝かしい再臨です。私たちも一緒に戻ってきて、主と共にここを治めるのです。それ以外に希望はありません。イエス・キリストが間もなく戻って来られること以外に、新しく主を信じた人や若者に対して、私たちが与えられる希望はないのです。

現在起こっていることと、主が言われた終わりの時の兆候が、見事なまでに重なってきているのです。だから私は希望でいっぱい、勇気があふれ、もっと福音を伝えていきたいと切に願います。携挙が起こるまで待ってから決心しようなどと思わないでください！多くの人にとって、携挙が最後のチャンスになるでしょう。だからどうか福音を伝え、良い知らせを伝えましょう。時間が少なくなってきました。主の御前に命を得て、備えましょう。イエスはすぐに来られます。主が私たちに伝えた、終わりの時のしるしは、今あちこちで起きていますから。ですから、私たちは本当にうれしく、勇気を得るのです。

私が皆さんに何かを伝えるのは、世界中で起こっていることを理解してほしいからです。それと同時に、皆さんが騙されたり、不安に押しつぶされたりしないためにも、理解することが大切だからです。聖書に書いてある通りです。

ですから、あなたがたは、今しているとおり、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いなさい。(第一テサロニケ 5:11)

ということで、主に目を向けて、ダマスカスで起こっていることに目を向けましょう。ダマスカスが次に起こることのカギになるからとは、いつも言っていることです。そして頭を上げましょう。私たちの贖いが近づいたからです。

Thank you!

I love you all!

現在次のフィルムの撮影中で、現地で聖書を教えています。昨日は、ヨッパの町で従順について教えました。ダン部族の不従順についても話しました。それからヨナとペテロの話もしました。現地でのバイブルスタディは、本当に素晴らしい時間でした。そのフィルムもいずれ公開します。今日は、これからエラの谷へ行って、神を求め続けたダビデ王の心について語り、その後、紅海へ行って、紅海を渡ったことと仮庵について話します。モーセは神が導かれないう限り、絶対に動きませんでした。

ということで、チームと共に、これから数週間素晴らしい時間を過ごします。ぜひフォローしてください。インスタグラム、フェイスブックの Behold Israel またはウェブサイト

をご覧ください。神がなさっていることにワクワクします。これからも世界各地をツアーで回って教えます。先ほども、世界中の様々な国から招待を受けました。来年は南アフリカもツアーに加わりそうです。時間は短いです。私たちは、福音を伝え準備をしなければなりません。たくさんの励ましを、ありがとうございます。これがすごく重要なのです。信じられないかもしれませんが、神のみことばを教え、伝えると、必ず激しい攻撃に遭います。ですから、優しい言葉を聞くのはいつでも大歓迎です！

Thank you!

God bless you!

イスラエルより I love you! さよなら、シャローム！

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO